

生活に直結。  
政治に実現。

実現力! 公明党

公明党

# せたがや区議団レポート

K O M E I S E T A G A Y A



昨年4月の世田谷区議会議員選挙では、公明党11名の議員が皆様の信託を受け、新たにスタートしました。皆様の絶大なるご支援に心より感謝申し上げます。

私ども公明党世田谷区議団は、責任ある生活与党として時代に即した行財政改革に取り組んでまいりました。前期4年間では、約100億円の事務事業の見直しや500名を超える職員定数削減を成し遂げました。これからも、徹底した無駄遣いを廃し、大胆な統廃合や業務の民間委託・民営化を進めるとともに、広告事業などの新たな財源確保も進めてまいります。また、子育てを地域や社会全体で

支える(チャイルドファースト社会)システムづくり、具体的には、子育ての精神的・経済的な負担軽減や保育サービスの拡充などに取り組みます。さらに、福祉の党として高齢者や障害者が優しさを実感できるセーフティネット社会の構築に全力で取り組んでまいります。

公明党には「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」という立党精神があります。

私どもは「人の痛み、苦しみがわかる、皆様と同苦できる」議員として、どこまでも庶民の側に立って区政に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 皆様の声をお届けしました。

20年度の予算に反映すべく、子どもや高齢者について3種類の署名を提出

2007年12月27日(木)

熊本世田谷区長に要望

子どものインフルエンザ  
予防接種助成制度の創設

妊産婦健診の無料化拡大

高齢者の介護や在宅生活を  
支える施策の充実

高齢者のショートステイ拡充、高齢者のケアハウスや  
グループホームの整備、来年度の介護保険料減免措置の継続。

子育てや少子化対策、高齢者についての署名を提出し、来年度世田谷区として取り組むよう申し入れを行いました。多くの区民の願いを署名とともに訴え、区長よりは「区政を支えていただいている公明党の要望は重く感じています。しっかり検討してまいります」と応えた。



2007年12月3日(月)  
冬柴国土交通大臣に要望



## 京王線立体交差化の早期実現へ 熊本世田谷区長と公明党世田谷区議団で申し入れ

京王線の代田橋から八幡山駅付近の立体交差化を早期に実現するよう、国土交通省冬柴大臣へ申し入れを行いました。これには、熊本哲之世田谷区長、高木陽介衆議院議員、中島義雄都議会議員と私ども世田谷区議会公明党(高橋昭彦・杉田光信・平塚敬二・高久則男)で要望しました。

冬柴鉄三国土交通大臣に要望書を手渡し、京王電鉄京王線の代田橋～八幡山駅付近間の連続立体交差化を早期に実現するよう申し入れました。同区間沿線に20箇所の「開かずの踏切」(ピーク時1時間当たり40分超、遮断したままの踏切など)が存在する現状を訴え、新規着工の対象とするよう訴えました。

冬柴国交相は「たくさんの開かずの踏切があることは問題だ。ぜひ着工したい」と述べました。



京王線桜上水駅踏切